

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	外国人看護師・介護福祉士受入支援事業費	担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	外国人雇用対策課	外国人雇用対長 山本 麻里			
会計区分	一般会計	施策名	II-1-3 高齢者・障害者・若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	<p>「経済上の連携に関する日本国とインドネシア共和国との間の協定」附属書十第一編第六節</p> <p>「経済上の連携に関する日本国とフィリピン共和国との間の協定」附属書八第一節第六節</p> <p>「経済上の連携に関する日本国とインドネシア共和国との間の協定」に基づく看護及び介護分野におけるインドネシア人看護師等の受入れの実施に関する指針</p> <p>「経済上の連携に関する日本国とフィリピン共和国との間の協定」に基づく看護及び介護分野におけるフィリピン人看護師等の受入れの実施に関する指針</p> <p>「看護師及び介護福祉士の入国及び一時的な滞在に関する日本国政府とベトナム社会主義共和国政府との間の交換公文Ⅰ及びⅡ並びに附属書一」</p> <p>「特例インドネシア人看護師候補者及び特例インドネシア人介護福祉士候補者の雇用管理、研修の実施等に関する指針」</p> <p>「特例フィリピン人看護師候補者の雇用管理、研修の実施等に関する指針」</p>	関係する計画、通知等	<p>平成19年度比国看護師・介護福祉士受入事業委託要綱</p> <p>平成20年度外国人看護師・介護福祉士受入事業委託費交付要綱</p> <p>平成21年度外国人看護師・介護福祉士受入事業委託費交付要綱</p> <p>外国人看護師・介護福祉士受入事業委託費交付要綱</p> <p>「経済上の連携に関する日本国とインドネシア共和国との間の協定」に基づく看護及び介護分野におけるインドネシア人看護師等の受入れの実施に関する指針について</p> <p>「経済上の連携に関する日本国とフィリピン共和国との間の協定」に基づく看護及び介護分野におけるフィリピン人看護師等の受入れの実施に関する指針等について</p> <p>「経済連携協定(EPA)に基づくインドネシア人及びフィリピン人看護師・介護福祉士候補者の滞在期間の延長について」</p> <p>「特例インドネシア人看護師候補者の雇用管理、研修の実施等に関する指針」について</p> <p>「特例インドネシア人看護師候補者の雇用管理、研修の実施等に関する指針の一部を改正する件」及び「特例フィリピン人看護師候補者の雇用管理、研修の実施等に関する指針を定める件」について</p>				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>経済連携協定等の趣旨に則り、受入れ施設において適切な就労・研修が行われることを確保するため、インドネシア人・フィリピン人・ベトナム人看護師候補者・介護福祉士候補者が単に安価な労働力として利用されないことのないようにするとともに、インドネシア人・フィリピン人・ベトナム人看護師候補者、介護福祉士候補者、看護師及び介護福祉士の適切な雇用管理を確保すること又はそれらを達するために事務手続きを確立することを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>本事業は、国際厚生事業団又はベトナムに係る受入れ調整機関が行う以下の事業の経費に対して交付するものである。</p> <p>(1)候補者に対する就労ガイダンスの実施、(2)受入れ施設に対する就労開始前説明会の実施、(3)巡回訪問等による外国人看護師等の就労の状況の把握・指導、(4)外国人看護師等からの相談・苦情等への対応、(5)受入れの枠組みに係る国内説明会の実施、(6)受入れ施設から提出された定期報告等を厚生労働省に提出、(7)相手国の送り出し調整機関との協議、(8)ベトナムからの受入れを希望する機関の募集手続きの確立に向けた業務、(9)その他の必要な事業</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	35	50	46	49	56
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	35	50	46	49		
	執行額	34	50	46			
執行率(%)	98	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	外国人看護師等が研修を受けるに当たって、適正な雇用管理の実施を確保することが成果目標である。巡回訪問で適切な調査・指導をし、相談・苦情等に迅速かつ的確に対応することにより達成されるが、これは定量的な実績として示すことは困難である。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	巡回訪問件数	活動実績 (当初見込み)	件	100 (100)	329 (352)	405 (374)	— (405)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	受入れの枠組みの国内説明会の回数	活動実績 (当初見込み)	回	6 (6)	5 (5)	2 (3)	— (2)
単位当たりコスト	47,367 (円/人)	算出根拠	平成23年度交付決定額45,851千円を、平成23年12月時点で就労・研修等中の外国人看護師等の人数968人で除した。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	管理運営費	18	24				
	雇用管理指導関係費	31	32				
	計	49	56				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	二国間協定に基づき、政府の責任において適正な受入れを行うこととしているところ。仮に受入れ施設において労働法令違反の発生など適切な雇用管理がなされなければ、外交上、二国間の信頼関係を損なうばかりか、国際社会における信用を失うなど、重大な支障を生じるおそれがあり、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	二国間協定に基づき、国が自ら実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	同一地域の受入れ施設をまとめて巡回する、事前調査票を送付する等、効率的かつ効果的な実施を図っている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業の直接的な受益者は受入れ施設及び外国人看護師等であるが、二国間協定に基づく経済連携のための事業であり、国民が負担すべきものであることから、妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	資金の費目・使途は外国人看護師等の適正な雇用管理に資する事業に限定されており、妥当である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	寄せられる相談・苦情に対応するだけでなく、巡回訪問により全ての施設での就労状況の把握・指導が可能となり、また相談業務については英語・インドネシア語での対応が可能であり実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	年度途中で外国人看護師等が帰国し、受入れがなくなった施設があるため見込みを下回ることもあるが、原則受入れのある施設については全て訪問している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	本事業の実施により、受入れ施設と外国人看護師等との雇用管理上のトラブルを未然に防ぐことが可能となった。
点検結果	上記評価のとおり、目的・予算の状況、資金の流れ、費目・使途、活動実績、成果実績のいずれについて適当と認められる。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	外国人看護師・介護福祉士受入支援事業費は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	369	平成23年行政事業レビュー	334

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
46百万円

(補助)

A,社団法人国際厚生事業団
46百万円

- (1)巡回訪問等による外国人看護師等の就労の状況の把握・指導
- (2)外国人看護師等からの相談・苦情等への対応
- (3)受入れの枠組みに係る国内説明会の実施
- (4)受入れ施設から提出された定期報告等を厚生労働省に提出
- (5)その他の必要な事業

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
(管理費)					
人件費等	職員基本給・職員旅費等	23			
説明会等	会場借料・職員旅費等	1			
(事業費)					
職員旅費	巡回訪問指導経費等	15			
説明会等	雇用管理受入施設向け就労前説明会等	2			
謝金等	雇用管理相談員謝金等	3			
雑役務費	システム管理費	2			
計		46	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人国際厚生事業団	(1)巡回訪問等による外国人看護師等の就労の状況の把握・指導 (2)外国人看護師等からの相談・苦情等への対応 (3)受入れの枠組みに係る国内説明会の実施 (4)受入れ施設から提出された定期報告等を厚生労働省に提出 (5)その他の必要な事業	46		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					